

# しちのへ 農業委員会だより

**第8号** (通巻第13号)

2009年3月1日発行

発行 七戸町農業委員会  
 編集 編集委員会  
 所在 七戸町字森ノ上131番地4  
 電話 68-2967(直通)「内線260・261」  
 FAX 68-2486  
 E-mail nougyou01@town.shichinohe.aomori.jp  
 発行部数 6,000部

## 認定農業者との意見交換会



去る12月12日に認定農業者と農業委員による意見交換会が、中央公民館で開催され、会議では農業委員でもあり、認定農業者の会長である天間正大氏が座長となり、農地行政等について意見交換を行った。(詳しくは1頁)

### 全国農業新聞転載

## 米のトレーサビリティ制度導入へ

だに示産テ11高ムす米と品流ビさの米  
 ろはし地ィ月崎検るの。の通りれ関の  
 うどた情と、経討た流事移のテる連ト  
 かの。報米米済会め通故動各ィ見法し  
 。よ制伝関の大へ、経米を段は込案し  
 (う度達連ト学座コ路問把階、みがサ  
 詳な導制商し学長メを題握に生だ今ビ  
 細影入度品し長・流迅をで応産。国リ  
 8響でののサし吉通路受きじ、ト会テ  
 頁が農骨原ビが田シにけるて加レにィ  
 にあ業格料リ昨俊ス特てこ、工し提制  
 る者を原 年行テ定、食、サ出度

## 食料自給率の向上へ期待を集める新規需要米

紹料いせ実規が提実生のど生 ると要度ら・物自  
 介米るな需需どと需産作関産支。流米米れ飼と給水  
 しの現い者要のな者者成係者援。通振関て料し率田  
 ま栽場。と米よるとにが者、をの興連い用てをを  
 す培のそののう。の対必の加受 拡対予る米新向有  
 。ポ事こ結取に作播す要連工け ををの国に需さ活  
 (ィ例でびり使っ種ると携・る ををの国に需さ活  
 4ンの、つ組うた前支なに販た 4 頁トほ先きみのも契援るよ売め  
 以なか行がにかの約で。る業に 降ど、し欠は。をがは特計者は  
 )を飼てか、新誰前、に画な、



# 平成20年度 遊休農地調査集計結果

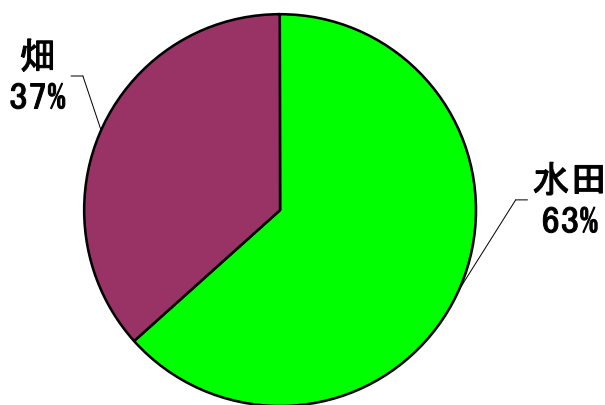
2008年8月～9月調査

耕地の状況	区分	農地		計
		水田	畑	
(緑) 人力・農業用機械で草刈等を行うことにより、直ちに耕作することが可能な土地	面積(m <sup>2</sup> )	540,509	553,087	1,093,596
	筆数	242	313	555
	所有者(耕作者)	156	223	375
(黄) 草刈等では直ちに耕作することはできないが、基盤整備を実施して農業利用すべき土地	面積(m <sup>2</sup> )	286,717	120,754	407,471
	筆数	105	49	154
	所有者(耕作者)	85	35	118
(赤) 森林・原野化し、農地に復元して利用することが不可能な土地	面積(m <sup>2</sup> )	686,886	199,304	886,190
	筆数	299	98	397
	所有者(耕作者)	193	82	269
合計	面積(m <sup>2</sup> )	1,514,112	873,145	2,387,257
	筆数	646	460	1,106
	所有者(耕作者)	409	319	685

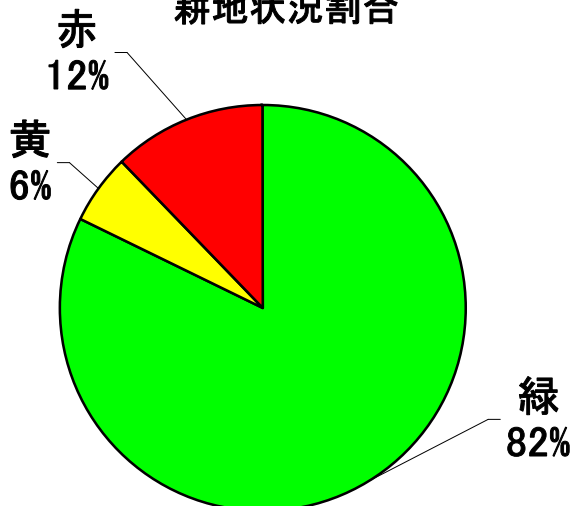
農をさ点 け農  
地対の的昨て地農  
が象まに年実の業委  
確にし行の施実委員  
認調たい調い態員会  
さ查が約查た調会  
れを、1はし査で  
ま行今0、まをは  
しい年6農し昨、  
た、度振た年昨  
。約はの農。8年  
2町遊用 月に  
3内休地 か引き  
8全農区 らき  
9体地域 9続  
ののが内 月き  
遊農確を に遊  
休地認重 か休

## 町内全域一筆調査を実施

遊休農地(田・畑)割合



耕地状況割合



ま意は れ有る米はえ調く あがり土に耕田  
す向、1ま効この粉、5整なまりま、地耕地の水  
の調遊月す活との転れのった対だ遊一作状割田  
で查休か。用か作作ま影て、策耕休はす況合・  
、を農ら のら付とす響い水が作農82るでが畑  
こ行地2 一、けし。もま田急可地%こは63の  
のなの月 つ遊もて21大すのが能のをと、%割  
結っ所に と休可飼年きが割れなほ占が緑を合  
果て有か 考農能料度い、合ま状とめ可 占で  
をとお者け え地と米かと生がす態んて能直めは  
基りにて らのなやら考産多。にどおなち、水

情あし土はののAはQ  
でるか地、こ目 農耕  
一こしと現との農地作  
時と、言にでに地で放  
的な耕え耕あ供す棄  
にど作ま作りさとか地  
耕何者すさ、れは。も  
作らが。れ一る、 農  
さか病 て般土 地  
れの気 いた地耕 法  
て事で るに作 上

## 農地法Q&A

すごて消図拡しに  
。協いにする大、農  
力ま努な農認地  
をすめど家定のの  
おのて、へ農有  
願でい遊の業効  
い、<休利者利  
いごこ農用等用  
た理と地集のを  
し解との積規検  
まとし解を模討

すい土すトわーめ目にな何がてな耕すて事で い  
。う地ぐらか農らのみ土時、い土作。い情あしな  
こはにクリ地れにて地で耕る地放こなでるか  
と、耕タやる供そのも作とは棄のい一こし土  
に現作すにもさのよ耕しは、地よ土時と、地  
な況が等く該のれ現う作よい現とう地的な耕も  
る 可を言当にる状にでうえにいなもにど作あ  
わ農能入いしつもが、きとま耕っ休あ耕何者り  
け地とれままいの耕客るすせ作た耕り作らがま  
でなれすすとと作観よれんさよ地まさか病す  
とるばと。は認の的うば れう、 れの気。



## 家族経営協定を結びました

負がんだのの収やしの標協さ た日 すが  
 をんだ、後協経参益就、あを定ん上家にそ。経現  
 語ばと家継定営画の業そる持では原族家の 営在  
 っっい族者と移、分条れ農ち、2子を族中 協七  
 ててう全のな譲更配件ぞ業、一世 ご経か 定戸  
 いい自員昌っをに、れ経夢人代上紹営ら を町  
 まき覚が一てもは経健の営とひ、原介協今 結で  
 したを経郎い盛後営康役をやと3子し定年 んは  
 たい持営さまり継計管割目りり人地まを2 で57  
 。とっ者んす込者画理分指ががで区す行月 い家  
 抱てな 。んへへ、担 い目の。っ 6 ま族

## やる気のでる農業・農村づくり研修会

が夫業牛 だの族御田営 あの状態 加業る ま相業農定げ力決経意お 主域会るをだて日  
 、婦農+野き 経夫市に次り変況員はし委16当 す互委業はるあめ営見互協家催農 農目方、去  
 平で家加崎まと営妻の活にま化やかじま員名日。協員振担たる、方をい定族 一林 業的々家七  
 成協で工家し題協か野か、し等協らめし10のは 力会興いめ農時針出の 一 経が水企・にの族戸平  
 17定すとはたし定ら崎し協たに定、にた名農協 してを手の業代やし立 一 営行産北農、研経町成  
 年を。直、。で 武て定。つを県、。も業定 、普ねのも経に働合場と協わ部地村 修営役21  
 再結平売水 御目我博いを い結内普 研者を結 進指い成でを応方な尊、ま及県くる情定に2  
 度び成を稲 紹指が・る上 てん外及 修の会他ん し導に確す作しなが重家以し指民り気報をお月  
 取ま11行+ 介す家さ・手 説だの指 会に、で いが農や協上魅を、、が、。室地修で換ん  
 りし年う預 いものち十に 明方取導 に、で たいな加決協手子めときが っ工め定伝さば、活加 こ加、を の結親

が夫業牛 だの族御田営 あの状態 加業る ま相業農定げ力決経意お 主域会るをだて日  
 、婦農+野き 経夫市に次り変況員はし委16当 す互委業はるあめ営見互協家催農 農目方、去  
 平で家加崎まと営妻の活にま化やかじま員名日。協員振担たる、方をい定族 一林 業的々家七  
 成協で工家し題協か野か、し等協らめし10のは 力会興いめ農時針出の 一 経が水企・にの族戸平  
 17定すとはたし定ら崎し協たに定、にた名農協 してを手の業代やし立 一 営行産北農、研経町成  
 年を。直、。で 武て定。つを県、。も業定 、普ねのも経に働合場と協わ部地村 修営役21  
 再結平売水 御目我博いを い結内普 研者を結 進指い成でを応方な尊、ま及県くる情定に2  
 度び成を稲 紹指が・る上 てん外及 修の会他ん し導に確す作しなが重家以し指民り気報をお月  
 取ま11行+ 介す家さ・手 説だの指 会に、で いが農や協上魅を、、が、。室地修で換ん  
 りし年う預 いものち十に 明方取導 に、で たいな加決協手子めときが っ工め定伝さば、活加 こ加、を の結親

介がつとでは協  
 でよと誇、っ定  
 しく暮り自きで  
 たわらを分り家  
 。かし持の決族  
 ってち役め  
 たい、割た役割  
 事はにこ割  
 例様つ責とを  
 紹子ら任



講師の野崎夫妻

。たにたでうん良もき工 と工独借て特びをめ  
 集の家よはかうしを武で部立り、徴直含内容  
 と今中で事う、っ10て始博す門探、妻はしめ容  
 話はで、をに た年いめさ。を算加が、またを  
 し農き自母な天。早るてん 担性工農協し3充  
 て業る分のっがく姿、は 当に場業定た人実  
 いがよは役た家、取を大、 してよを改を。でさ  
 ま楽う農割し事さり見変 てる整良活野協せ  
 ししに産と、をち組る活妻 い農備資用崎定、  
 たいな加決協手子めときが る産し金し家を母  
 。っ工め定伝さば、活加 こ加、を の結親

一定 りきつる育業が い  
 人に今また。たつが大梁う  
 で対回しいぜめ。で切しこ  
 もすのた。ひに楽き。くと  
 多る研。L 広もしれ自農が  
 く理修 とく協めば分業わ  
 の解を のP定る、がをか  
 農が機 意Rは農後楽すった  
 業深に見し役業継しるた  
 者ま、がてにに者くこ。  
 がり協 あい立すも農とL

が性よ多向業のかたま等  
 大のか数きに研ら、しと嬉  
 切意っ聞な対修、農た話し  
 だ識たか意す会 業。しい  
 と改。れ見るで今委まて。よ  
 革男てが前農回員 いLう認  
 自にて家協と再。い守た容はを

こらがを取結らんは  
 認れとれ、守りん、だ、意  
 。しをもて最っ決だ 農協見  
 よ機多い近てめ当協家定交  
 うにいなはい内初定かを換  
 再。い守た容はを 結で

技 合及農いてまるま町協  
 師普わ指業る、すこすの定  
 及せ導委方関。とま農を結  
 工指く室員は心協がす業・び  
 藤導だに会おを定期活・性農、  
 真室さあ又気持に待性農、  
 智 い問は軽っつさ化村七  
 子。い普にていれすが戸



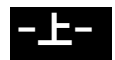
男性の意識改革の大切さを再確認していました。

# 《特集》 新規需要米生産に助成

## 助成水準 大豆、麦の増産も手厚く

のう麦論公策金等万け用付へ5料交払て産調整い農民ル い置すいと上予予農  
 意にの目で約のと有円す米金水万米付う10主整実る政党活柱 とさる手耕に算算林政  
 見注生給は通合水効をるとし田5に金へる食確施。公が用と◇現れメ支作向案案水府  
 の意産率、り計田利交場小③等干対し水あ米約者①約09のな 場で二援放けはと産が  
 上しが向党決し経用付合麦米有円し②田た作して08を年予っ◇のいユと棄、、09関決  
 がな拡上農めし営活すは8粉効を、米フリ付た09年色9算て 期る1雇地水食年係定  
 りけ大に林た。所用る10裏用活交10粉ル3面場年産濃月措い◇待。が用の田料度第し  
 、れでは幹。い得促。る作米用付る用活干積合産のくにも生残掲は水◇探算厚策生ル給林次08  
 大ばき大部党ず安進へ当を・促す当米用円ににも生残掲は水◇探算厚策生ル給林次08  
 豆る豆かのれ定交水た作飼進るた・推を応08生産しげ、田 するのくに、活率水補年  
 、とよ、ら議も対付田り付料交 り飼進支じ年産調てた自フ。狙措対担用向産正度

自給率向上予算  
ねらいと期待



市田要せににな種組産コ生低作付た転は進効水  
 で条件る流実ど前むにス産コ付地は作①交活田  
 は瀉。し通需確契③取ト②スけで不田新付用等  
 同上秋がさ者実約播り生低ト②不作ま規金促有

しせ付推同予いたるまた農用定な麦  
 てる地す進交算働。のえ緊水推さどの  
 いし域る協付できだか、急省進れよ助  
 るへ協予議金措かがとど一は交たり成  
 。総議定会は置け自難れ時08付。上水  
 合委でを地さで民色だ年金 回準  
 食の、通域れ08党をけの産に水るは  
 料判使し水た年幹示効反につ田よ米  
 局断途て田。度部し果省措いつう粉  
 しには、農 補のてがも置てルに用  
 と任 交業 正強いあ踏し、活設米

### 生産調整拡大分に対して転作作物を 作付けした場合の助成水準

(単位:千円/10%)

助成対象	水田等有効活用促進交付金		水田経営 対策成績 払分助成	助成額合計
	作物	面積払い		
米粉・ 飼料用米等	55	-	-	55
大豆	35	20	7	62
小麦	35 (裏作麦は15)	27	13	75
飼料作物	35(+13)	-	-	48

(注) 麦については、10年産から対象(09年産は08年度補正予算で措置)  
 飼料作物の1万3千円/10%は耕畜連携水田活用対策事業の助成金(上限)  
 畑不作付地への作付け拡大は1万5千円/10%(助成期間は1年)

## 水田フル活用

期るシ大 供り用ジ省と田09交  
 待。ヨ豆「転す、しエのいで年付  
 は米ソの作る地、ク農う米産金  
 大粉がブ割。元導ト山。粉かの  
 きに崩り同の入支漁製用ら助  
 い対れッ当市食を援村粉米30成  
 しすかくて産品進交活機生を  
 とるけ口が業業め付性械産程受  
 語現てし増課者て金ははを度け  
 る場いテえはにおをプ農行の  
 。のし、提活口水う水、

# 農地復元作業に助成

## 農地利用調整活動 不在村地主対策を強化

か意はる後実耕業る地中向る主り修の集とい予会口群みた括みか地意総八(生向省  
 るは、。の施作委。の、上し体、を生積ん。算会佐馬がこのがはを。合し2利けは09  
 費も地営活、放員現フ水がとと復受きはど山を長知県つとな大、ど条的ド0用、耕年度  
 用と域農用復棄会在ル田農語し元けが難な間有は男農くで支き国この件な・7緊作度  
 やよの再を元地が、活を政るてしるいしの条効、高業と地援くのま不メソ億急耕放予  
 営り創開検のの中市用中の。期た人といで件に2崎会見域策影支で利二フ円対作棄算  
 農、意の討可全心中が心柱食待農がしが担不活0市議らのが響援復のユトし策放地案  
 再復工判し能体と村求とと料し地増て、い利用0農会れ活提す施元耕しをと交棄の  
 開元夫断て性調なでめしな自てのえ農定手地し億業長る動示る策で作を含し付地解、  
 後にやにいや査りはらたる給い活て業年へがた円委の。にさ。のき放用めて金等消農  
 のか熱 今を、農れ農 率 用お研後のほ の員田 弾れ包厚る棄 た、し再に水

自給率向上予算  
ねらいと期待



てのがいで担かが定で地に問なか件は生作組継す培備や年再備止を支0 2 助りのなう害交容前  
 09対あな借いっ取の利主、題い販が、の放み続るなや機間開に柵復援7年成3程どウ物付が提採  
 年応るいり手たれ手用の不以と売悪生背棄だす支ど試材は後もの元。当間す万度のへを金注と算  
 度と。事手不りな続権増在外い路い産景地。る援に験の資も助設しつた、る円に復す除で目な性  
 しこ情が足、き設加村 うがと条に発耕仕を対裁整材 1 成置たぶり土。ま応元き去はさり  
 が、りれ2づ復たじ作し、れ、ど  
 あ直、た万く元は業で、雑て国う  
 る売鳥用5り後510に深大木いのな  
 。所獣排干のも万7、耕型なた支る  
 営の害水円た最円当荒すのど。援か  
 農整防路をめぐをた廃るブ障同内が

### 耕作放棄地の再生・利用のための 活動支援の内容

【耕作放棄地再生利用緊急対策交付金(新規)206.5億円】

- ①再生利用活動(貸借などにより耕作放棄地を再生・利用する活動)
  - ・障害物除去、深耕、聖地など  
荒廃の程度に応じ10ㄱ当たり3万円または5万円(取り組み初年度のみ)
  - ・土壌改良  
10ㄱ当たり2.5千円(最大2年間)
  - ・営農定着(水田等有効活用促進交付金の対象作物を除く)  
10ㄱ当たり2.5千円(1年間)
- ②施設等補完整備
  - ・用排水施設、鳥獣被害防止施設、直売所・加工施設、市民農園など
- ③調査・調整支援
  - ・農地利用調整や営農開始後のフォローアップなど
- ④支援指導
  - ・①～③に取り組む主体に対する指導・助言など

交な6集業確以へ集た対用ト担  
 付集千積保上北約農策調事い  
 す積円にで・し海し地を整業手  
 るに、は1利に道1を強活ア  
 。は110ㄱ用すはㄱ担化動でク  
 1ㄱを以集れで以いすではシ  
 万未当上積ばは上手る不、ヨ  
 2満たの支、1のに。在農ン  
 千のり新援。団面復村地サ  
 円新1た事農5地的元地のポ  
 をた万な地ㄱにし主利!

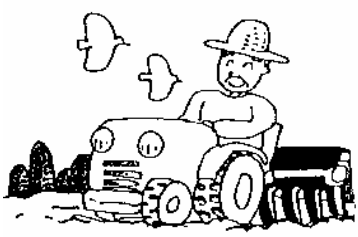
経談のをで経は法業と簡のににでポに担期敷もなプ農はフ全援なス営  
 費費手助、営、人とす易助力向は担メい待くのどを業1国措ど料診担  
 な用数成各が設化一経成をけ、とい二手を上では凶者予ク認置経助断い  
 ど、料す種安立を体な営や入て担事手ユへ語で、経りと算の定を営成の手  
 を先やる活定の目的ど診保れ、い業アのる活経営たしを二農充発、実対  
 支進専。動す準指に、断証る簡手ク化支。用営をいて活瓶業実展法施策  
 援法門法経る備す取各を料。易のへシし援しの意。レ用幸者しの人や予  
 す人家人費段段担り種事助り経資30ヨてをたし識経べし次ネたた化機算  
 るのへ設の階階い組支業成1営質億ンい総い1づ営ル、郎ッ。めの械は  
 。視の立一まか手む援要でス診向円サる合ールけ診ア認代トの促り、  
 察相時部らに。事件は料断上。的とをる断ッ定表支進1経

自給率向上予算  
 ねらいと期待  
 担い手対策予算

## 経営診断実施に力点

認定農業者 機械リース料を助成

万のた億支業法戦な開販力者な業援発充助限の型者円ス営は導け大法  
 円1。円援法人しビ発路1やり法策展実法成110で経一事展、入にな人認  
 上以補一事人向よジな開と食地人もの法人す千分、営の業開す農ど化定  
 限内助を業経けうネど拓連品域が充た人支る万のり発認支担る業をや農  
 へ率用L営にとス、や携メの中実めの援。円31展定へ援い時機き規業  
 で12意へ発すに新商し1農心。の経策へス支農6リ手に械っ模者  
 、千分し2展農る挑た品て業と農支営もを上料援業億1経をか拡が

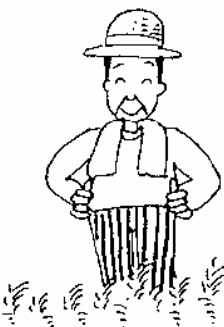


の0で体算業急わのる用フに上充へ強己3なもムほ発作実  
 2、・・L対っ際ま。性オ限積実81化地負をど担支確かな物現  
 分6借全6へ策たのたの1りみ。億総域担上のい援立、どのに  
 の%入国億08保保新機ク、し前円合に部限取手すに人の導必  
 1程金農円年証農証た械り要、年し対な分に得にる向材費入要  
 を度額業へ度料業料に助フ件農度は策いを融働人。け育用、な  
 助係の会へ2助経助、成トを業よ金実て補資格気た成を新調  
 成る0議実次成営成資対な満でり額験経助残のの取ブ助商査  
 す保。所施補交支が金象どたの16な事営す額10、り口成品、  
 る証2一主正付援加借にのせ使億ど業基るの分農組グすの新  
 。料5予事緊入な汎ば用円をL盤自の機みうる開規

水し施(下キ)ト、肥基ヲ約当をる3箱毒度上04ひ、栽洪待物なの機に6り07栽か造録  
 、を用窒旬(キ)とを肥で4た5。0にして旬円キび品培谷でとい確械は、7年培らさな宮  
 せし素にを(化)10と移本り月田ヲ1た10にで当き種をさきた保の及75度に2んど城  
 ずた換化施窒学ヲし植、75後植播箱上分種購た、は紹んるてめを導ば万0の取録(を)県  
 に。算学用素肥当て。株半え種当で間も入りを「介のと大、必入な円キ収りの60経加  
 9水で肥、換料た鶏肥株へにはした、温み。1使ぶす飼いい転要やい程、量組水(管)営美  
 月管同料追算同り糞料間11中てり育湯を34いくる料うに作と労が度純はん田はず町  
 上理3.2を肥で502堆は18株坪苗い1苗消60月0、と米。期作し力、で利0で、るで  
 旬はキ同は同  
 に中(20)65.2  
 止干をキ月

### 食用米との混入防止が課題

りかあでうめく穫試昨るあしき費米 る1<円10 り4速らしひか10  
 組らる水。、期験年危るか(のと生と万(へ)7取キ度4やびら月  
 みなが分ま利ワが的は険たもは削の産い円で借当年っまを条すき収初  
 たい、をた用ラ遅に「性め脱取減混面う程食地た度た。落常り点のをに  
 い立今調、価の<導へが、粒穫。入で。度料代りの。とよコに収し落  
 と毛後整収値収、入こあ食性時「防の 安米25生しりン注獲た水  
 い乾はす穫が量倒しある用、期ぶ止課 くと万万産 な遅バ意は。し  
 う燥燃る後高も伏たおと米倒が<と題 な比14コ な遅バ意は。し  
 。に料必15い高しがばいに伏早ひ乾は てる円5ト ら時ンな脱ぶ中  
 もの要%といに、「う混性<び燥食 いて除0は 刈速でが粒<旬  
 取かがまいたく収も。じが、 経用



## 転作で飼料米を2割栽培

活ジ05苦し 表をの営し新歳依会婦れい地 会き米の業組新 円年食売のパン 哲セ録か  
 用ネ年労て最の始加す、た代頼(人をか域)がっ粉福委ん見 道の駅で製パン  
 しスにし売初野め工るアにの。に部受と活れ深かバ井員だ市 のがは米  
 てスはたれは村た施道ク「主同米会け「性と化米正。に新がは米  
 製夕国(る)な真。設のテ米婦会粉「同と提にの・同出保02、粉  
 パ(の)ともか由「で駅ィ工のでパ(町)提にの・同出保02、粉  
 ント 振のな美米バ「ブ房有はソまで案つ消元町農をに哲ン  
 施事アリにかさ工(鯉)哲(志)20づわはしな費町農をに哲ン  
 設業グ返な商(ん)房づが西を6歳くり03たが拡長業た訪視西に  
 を(り)るら品は(く)窪が設人(り)の年。ら大に委のれ察町取  
 導をビ。ずと 代り(運)立が30を にこなと、員が、先農り 万 給販道粉 37年

## 地元産米で本格パンづくり

使でりとこに をあ60でのス流村をが05(粉)作こ「て濁元パいす小4売直造1時を造入  
 現いき歩水だよ道製りキ。購機(式)機導窪年深もるだせ(い)製米ンるる麦回す売。日 重、  
 在たれ留のわるの造、の(入)械(パ)微械入(、)井自のわ(っ)た粉の(に)制(パ)納る所道平種ね販本  
 、いばま浸らと駅で微製。を(1)粉製し(に)道元分(だ)っか。(に)製使(当)度(ン)入。、の(均)類(田)売(格)  
 道(品)り透(な)の(き)細粉(15)ミ碎作(た)製(の)町(た)か(た)く(しい)粉(用)初(を)と(し)学(移)駅(約)の(結)を(的)  
 の(と)質(が)に(い)采(岡)る(粒)能(時)千(1)方(所)。粉(駅)長(ち)ら(パ)地(か)た(は)す(米)設(の)て(校)動(や)1(バ)果(始)な  
 駅語(の)悪(時)が(の)崎。(の)力(間)万(ル)式(の)機(機)「(で)、「ン(元)しく(働)る(粉)け(差)お(給)車(「千)ン、(め)パ  
 での良(く)間、品(太)粉(が)に(円)「(過)西(械)鯉(と)「製(を)に、(し)新(地) (て)額(り)食(な)A(個)を(今)た(ン)  
 の。い(な)が(古)種(郎)粉(を)を(か)だ(は)長  
 製 米(る)か(米)に(駅)  
 粉 を(か)だ(は)長

### 転作助成金で生産者支援



訴に米るでいの木 度取道(た)年緊予せ(で)た米産定 ば裕崎354(る)の米でコ  
 え後粉(の)は(う)農友(「に)りの。(は)急算(さ)あ(当)。粉(か)供(新)受(が)駅(「ト)ト。委(粉)、ス  
 る押(の)は(農)気(家)仁(A)な(は)駅(「1)一(で)れ(れ)た(助)用(ら)給(見)け(あ)長(に) 07(託)の(ト)  
 。し(利)難(家)持(は)課(阿)る(1)に(A)・時(生)る(ば)り(成)米(産)を(市)る(る)は(達)建(年)製(ほ)こ(は)  
 し(用)し(手)ち(米)長(新)見(キ)供(阿)4(金)産。同(3)単(を)地(図)で(「)の(し)設(度)粉(か)め(1)  
 て(が)い(取)が(を)は(農)込(当)給(新)7(も)調(07)2(万)価(交)づ(る)は(と)で(製)て(時)の(も)、工(キ)  
 欲(広)の(り)強(作)産(み)た(し)が(録)活(整)年(万)円(は)付(く)た、語(依)粉(い)の(製)受(他)房(当)  
 し(が)で(を)い(り)こ(課)。り、精(作)用(拡)度(円)、基(対)り(め)米(る)頼(能)な(年)粉(け)地(「)た  
 いる、確。た(の)の 70(農)米(付)し(大)の(が)担(本)象(対)、粉。が(力)い(間)量(て)域(で)り  
 「よ(国)保(現)い(地)左(と)う(は)す(状)と(域)々 程(手)て(し)昨(の)正(乗)手(0)し(で)年(安) ね(余)岡(標)約(ら)う(円)

# ここがポイント 飼料米栽培のノウハウ

解説 東京農業大学 信岡誠治准教授

当めパ飼◆当足専しも日る種でる多高のる東ン(向 飼◆専う准東飼でが栽能い肥以収る 解説  
 た・ク料基◆当足専しも日る種でる多高のる東ン(向 飼◆専う准東飼でが栽能い肥以収る 解説  
 り施の米肥◆当足専しも日る種でる多高のる東ン(向 飼◆専う准東飼でが栽能い肥以収る 解説  
 28肥もは超用◆当足専しも日る種でる多高のる東ン(向 飼◆専う准東飼でが栽能い肥以収る 解説  
 がはを多収◆当足専しも日る種でる多高のる東ン(向 飼◆専う准東飼でが栽能い肥以収る 解説  
 基本生収◆当足専しも日る種でる多高のる東ン(向 飼◆専う准東飼でが栽能い肥以収る 解説  
 準田産で◆当足専しも日る種でる多高のる東ン(向 飼◆専う准東飼でが栽能い肥以収る 解説  
 でです高◆当足専しも日る種でる多高のる東ン(向 飼◆専う准東飼でが栽能い肥以収る 解説  
 あ10るタ◆当足専しも日る種でる多高のる東ン(向 飼◆専う准東飼でが栽能い肥以収る 解説  
 るたン◆当足専しも日る種でる多高のる東ン(向 飼◆専う准東飼でが栽能い肥以収る 解説

とれ素一◆本りりで茎のし主◆密植葉る見2箱通◆の(量分飼◆播下度力行だ飼◆行J量くど移  
 たを発除◆本りりで茎のし主◆密植葉る見2箱通◆の(量分飼◆播下度力行だ飼◆行J量くど移  
 除除破剤◆本りりで茎のし主◆密植葉る見2箱通◆の(量分飼◆播下度力行だ飼◆行J量くど移  
 草草壊でも◆本りりで茎のし主◆密植葉る見2箱通◆の(量分飼◆播下度力行だ飼◆行J量くど移  
 剤剤すも◆本りりで茎のし主◆密植葉る見2箱通◆の(量分飼◆播下度力行だ飼◆行J量くど移  
 のはる良◆本りりで茎のし主◆密植葉る見2箱通◆の(量分飼◆播下度力行だ飼◆行J量くど移  
 害け分が◆本りりで茎のし主◆密植葉る見2箱通◆の(量分飼◆播下度力行だ飼◆行J量くど移  
 がるが葉◆本りりで茎のし主◆密植葉る見2箱通◆の(量分飼◆播下度力行だ飼◆行J量くど移  
 発生ま緑◆本りりで茎のし主◆密植葉る見2箱通◆の(量分飼◆播下度力行だ飼◆行J量くど移

域東る以るば立と燥の◆刈のき脱を◆速てはか大で剤要がきる◆効尿追い良◆がで◆する  
 に北。下。モ毛か調導西南乾るでる型ず主収度対早ける発ある、がないだけ農葉の使用はで  
 は地たにモミのら整入南燥ののス。コらす用米とののピ量パイと。のなで通常獲の時自  
 向方だ下ミ水分まれは可能では立毛乾燥  
 かなやし水分含量は省略に高毛乾燥  
 ない本このら量下あ  
 。海の方収15%  
 打側方種はす  
 策地はす

合農(問) 農業者が自家増殖する場合は許諾は必要ありません。

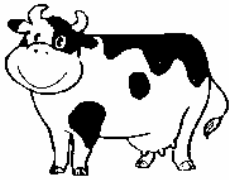
種(問) 種苗を許諾なく譲渡(販売)することはできません。

飼料米の種苗を譲渡(販売)する手続きと種苗の入手方法など

合農(問) 農業者が自家増殖する場合は許諾は必要ありません。

種(問) 種苗を許諾なく譲渡(販売)することはできません。

飼料米の種苗を譲渡(販売)する手続きと種苗の入手方法など





# 米のトレーサビリティ制度導入へ

**取引記録の保存  
農家にも義務化**

用期記媒手記場託はJれ公しどしし求期録た月荷たべはり部れを者者関視度米濟（  
さ限録体法録ご者、Aる表た遵用なめ間すは日時。て主組のま義にを連点のの大座米  
れやののでははとが記な。や場守途けら保る名、に事の食ま主で務取含商に骨ト学長流  
てE保の紙必の行録ど農罰合す限れれ存。称取、業事用れ食ブ付引め品立格レ学・通  
いU存記だ要載えなに業則はべ定ばたしそ、引品者業以て用ラけ記、をっでー長吉シ  
るで期録けな培ると委者な、き米など、の産相名は者外き米ンて録す対てはサ）田ス  
5一問もでい管。の託がど事事のらき行記地手、入をもたでドいとベ象、、ビが俊テ  
年般は認な。理まーす販が業項横なに政録なの数荷対含が任米るそてに米消りま行ム  
な、めく記なた部る売科者に流いは庁をど氏量時象め、意な。のの、穀費テと高検  
どに賞る電録ど、を場をせ名違し。提かーを名、とに、今にど 保事生と者ィめ崎討  
が適味。子のの圃受合 らの反なも供ら定記ま年出しす回取一こ存業産米の制た経会

## すべての事業者対象 流通経路を迅速に特定

見目  
込安  
みと  
だな  
。っ  
て  
検  
討  
さ  
れ  
る

トく前忠へかけこ い記でしは業新大テしれ  
レ、か聡有。止のそる録きて、者山学ムて、  
一流ら代へ新め導れ。のる確農が陽大検い米  
ス通生表神瀧て入に重認家買子学討る粉  
し過産取林県いを対要とすとい教院会。パ  
な程段締力村るどし性農るの入授農のミンべ調の米ごも粉品工る篩に料拳米米は調穀は対  
いも階役ン上のの、をかこ記れは学中穀ない整ほ菓、ち、に品。下充用げな、、製の、象  
としだはト市だよ農指もと録た、研で流ど、品か生お、米は・米米て、らど精も品加米と  
いっけ、リのろう業摘含でと記 究、通をあや、地こだ飯、調穀もら加れが米み。工穀な  
けかて、うに者しめ信照録集科京シ例らせ米なしん類米整の含れ工、例、、米品とる  
なりな以の 受は てた用合 荷の都ス示 ン粉ど、 、 製加める用飼に碎玄穀、米の

## 消費者の信頼向上へ 生産者の負担増には不安も

米の卸がるベビ晋大のだが底るる場佐 てとに農サい  
の直をあよてり准学流、す。よ合藤全い届産ビと  
特販通るうのテ教院通とまるすうは正国るとけ物リ考  
徴なさ。に流ィ授農に語ずのべな圃志稲。積るをテえ  
。どなしす通はは学詳るやはて形場会作 極のしィて  
主がいかる経法、研し。っ難のでま長経 的にっはい  
食大直しこ路制「究いーてし生記では営 にはか信た  
用き売、とが化ト院九方みい産録特 者 受当り頼。  
米いやJにたししの州でると者し定う会 け然消のト  
だの農A意どて一福大、こ思にてでち議 止の費あし  
けが家・義れすサ田学米とう徹いきの めこ者る！

有うか耕 すのにれ用成は得 農して現がの法A  
をな、作ま。許転ををしでし従地たあ況、権人農  
制こ全せた。可用他受たきてっ法山り農こ利以地  
限と面ず、をしにけ後ま農て上林、地の取外法  
さに的にこれ受よ売はす地、はの山ま規得の  
れなに他れけう却農、。造会制農林た制は法は  
るる耕のらとす地そし成社限地ののはの原人、農  
場と作ものこするととな土ししあての得草象と耕業  
合、をの農とるとな農耕り、お開、放はし作生  
が小任に地が場かり地、っり壟更牧、て目産  
出作せ貸を必合、まは農耕てり壟更牧、て目産  
きとし付社には場か地とす山せつはにくめで人  
ましまけ自な農用ら法しる林んい、つままの、  
すてうるらり地地、のてこを。て取いでせ農特  
。所よとがま法等こ適造と取 は得てもん地定

新たな米流通システムの骨格（原案）



Q 会社山林を取得して農地を  
造成し、耕作することができま  
すか。

## 農地法Q&A2

与のふ化に消テ進東集の  
え印えすも費ィ専卸荷技も  
て象るるつ者の務市・「す  
い」と中なが必取の販とべ  
るとな、が求要締へ売指て  
。漠る記るめ性役有を摘力  
然と帳がてはも「永がる  
と、作、いわ「井け。す  
しが業生れか下井け。す  
たん、産ばるし農る米る  
不じコ者生。1場、のの  
安ガスが産本サ、長生は  
感らト高意当ビ永野産至  
をめぐが齢欲にリ井県・難

